

令和7年度 園関係者（評議員）からの評価

学校法人 海山学園 認定こども園

追分幼稚園附属追分ベビー園

1 本園の教育目標

- 自ら生き生きと活動する子の育成
- 感じたこと、考えたことを素直に表現する子の育成

2 目指す子供像

- ・健康で明るい子ども < 健康 >
- ・自分で考え、自ら行動し、やり抜く子ども < 主体性 >
- ・感じたこと、考えたことを素直に表現する子ども < 表現力 >
- ・友達と遊び、思いやりのある子ども < 思いやり >

3 本年度の重点目標、計画

- (1) 一人ひとりを守る、安心、安全な教育環境のさらなる整備、充実
- (2) 架け橋カリキュラムの作成会議と実践生かした、質の高い教育・保育活動の充実
- (3) 地域に開かれた園経営と情報発信、組織的な対応の充実

4 評価項目の達成及び取り組み状況

A 十分に成果があった B 成果があった C 成果が少なかった D 成果がなかった

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安心・安全な教育環境を整備する	B	定期的に全職員での安全点検・安全会議を行うほか保護者の目から見た安全面での気づきや不安を聞き取り、修繕や改善の必要なものには優先順位をつけ早急に対応していった。
2	教育・保育の質を高めるために効果的に園内・外での研修を行う	A	潟上市学校区ごとに架け橋カリキュラムの作成会議と実践、交流を行い、子どもたちのスムーズな就学をめざした。立場の違いを超え幼保小の教職員が、就学までに目指す子どもの姿の共通理解を進め、学びを得ることができた。
3	一貫した指導ができるよう園内外への情報発信と連携体制を整備する	A	地域文化祭への参加を再開し、地域の方から「地域の宝」とお褒めの言葉をいただいた。実践してきた歴史的な流れや、守り伝えていくべき部分を教職員と共有していくことの大切さを再確認した。

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	ベビー園側と幼稚園側の教職員の入れ替えを進めることで、子ども理解のみならず安全面や環境設定においても視点の変化がありより良い保育に繋がっている。教職員各々の今まで現れにくかった能力が発揮されることもあり、質の高い教育・保育を目指し今後もできる限り進めていきたいと考えている。

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	日々気をつけていても「これでよし」ということはなく、様々なパターンを想定し改善したり訓練したりしていきたい。抜き打ち訓練を多く取り入れることで対応面の反省点も多く出てきた。さらに教職員間で気づきを多く共有していきたい。
2	研修	どの学年の教職員もできるだけ多くの研修に参加できるよう、シフト調整を行い進めていきたい。ファシリテーターとなる教職員を育てることでさらに園内研修が充実するよう、秋田市私幼の他園の公開保育への参加も進めたい。
3	地域への情報発信	創立70周年の記念の年でもあり、園の実践が未就園児や卒園生、地域の方々に伝わるようにするにはどうしたらよいかを教職員と相談しながら、長い歴史を振り返り地域と共にあり愛される園として今後も存続していけるよう進めていく。

7 園関係者評価委員（評議員）の方々からの意見

- ・「質の高い教育・保育」「子どもたちの笑顔」を維持するためには教職員の意識や体制の充実が不可欠であり引き続き努力願う
- ・園内の教職員がチームとして仕事をし、安全で安心な保育を進めようとする姿勢がうかがえた。
- ・園児の社会環境が悪化傾向にある中でも園児の情操教育に有意義な自然環境を有効に活用している。
- ・教育目標の具現化に向け、今後も引き続き取り組みに期待する。

【学校評価の流れ

4月	職員に評価項目を提示
5月	園関係者評価委員（評議員）に評価項目を提示
6月	公開保育（参加者にアンケートを依頼〔職員に公開〕）
9月	保護者にアンケート、教職員に自己評価を実施
3月	評議員会で園経営の評価を実施
4月	評価の結果をホームページで公表